



代表取締役社長
内山 高一

“安全・安心”、快適で持続的な 都市づくりに貢献します。

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の第73期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業概況について
ご説明申し上げます。

■ 営業概況について

日本と東アジアの伸長で増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の昇降機市場におきましては、中国での価格競争が継続するものの、需要は総じて堅調に推移しました。このような情勢のもと、第2四半期連結累計業績は増収増益となりました。

売上面では、中国の新設工事の増加と日本の大型案件の進捗に加え、アフターマーケット事業が堅調であったことから前年同四半期比10.8%増の858億円となりました。

利益面は、中国での出荷増や原価低減および韓国での輸出採算の改善、日本のモダンゼーション・修理工事の売上増により、同50.1%増の62億円となりました。

これにより1株当たりの中間配当金は、期初計画通り20円となります。なお、中国での新設工事の増加や採算性向上を踏まえ、通期連結業績予想を、売上高1,730億円、営業利益120億円にそれぞれ修正しました。引き続き全社で計画の達成を目指してまいります。

■ 中期経営計画について

スピード感をもって改革を進めています。

当社は、今年度を初年度とする中期経営計画“*Innovation, Quality & Speed*”において、収益性の高い筋肉質な企業体質への転換を図っています。

これに向け、期初に組織変更を行い、業務プロセスの革新やデジタル化推進を担う「営業技術本部」と「デジタルイノベーション本部」を設立。部門横断的な改革をスピーディーに推進できる体制を構築しました。

また、6月には人材育成とブランディングを目的とした施設「エクスペリエンスセンター シンガポール」を開設するなど、各課題へ積極的にアプローチしています。

“安全・安心”な昇降機の提供を通じて、快適で持続的な都市づくりへ貢献するため、改革のスピードを加速してまいります。株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年11月

売上高
858億円
前年同四半期比 10.8%増

営業利益
62億円
前年同四半期比 50.1%増

経常利益
69億円
前年同四半期比 39.6%増

親会社株主に帰属する四半期純利益
45億円
前年同四半期比 16.6%増

1株当たりの中間配当金
20円

2020年3月期通期連結業績予想 (2019年11月8日開示)

	前回発表予想	今回修正予想
売上高	1,710億円 +20億円 ⬇	1,730億円
営業利益	104億円 +16億円 ⬇	120億円
経常利益	113億円 +17億円 ⬇	130億円
純利益	85億円 +10億円 ⬇	95億円

TOPICS エクスペリエンスセンター シンガポールを開設

フジテックの南アジアを統括する中核会社フジテック・シンガポールは、6月に「エクスペリエンスセンター シンガポール」を開設しました。

同センターはフィールドエンジニアの人材育成とフジテックの魅力を発信するブランディングの目的で開設。フィールドエンジニアの教育を行うトレーニングエリアや、最新技術をお客さまに体感いただくことができるショールームエリアからなります。

施設の活用を通じて、シンガポールおよびその周辺国における人材育成と営業活動を強化し、“安全・安心”を基盤とするフジテックブランドのさらなる拡大を図ります。

